

相談室（1）

Q 高校生になっても塾は続けさせた方がいいか。

A 大学受験が目標で、塾にそれを指導する人材がいれば、その方が良いと思います。

進学校の上位の子供たちは、大半が何らかの学習機関を利用していますが、それは、学校の授業を聴いて大学受験に必要な内容を頭に残す、この作業が優秀な彼らにしても一人ではやはり難しく、不安だからだと思います。

高校では、範囲も広く、内容も深くなりますので、中学校時代にはかなり優秀だった子でも、中学校時代の半分も得点できない現象も珍しいことではありません。

特に進学校ではその傾向が強く、模擬試験などでは、数学や物理は0点のようなことも普通に起こります。

かと言って、高校の先生に個々への対応を求めるのも限度がありますので、基礎からやり直したい、レベルアップをしたい等、それぞれの目的に応じてくれる場所を求めることになるのでしょう。

ただ、どこかの質問で応えましたが、高校生を指導する、しかも大学受験となれば、かなりの知識と経験が必要ですから、中学生を対象の中心とするような学習機関では、まず不可能だと思います。

その点を十分にご確認されて、大丈夫ならば継続された方が良いかと思います。

Q 有名進学校に合格させることが塾の使命ではないのか。

A 送信された内容からすると、学習塾関係者の方でしょうか？

ここで無益な論争をすることは考えておりませんので、今回だけということで、ご質問にお応えします。

学習塾には、それぞれの方針があると思います。

あなたが有名進学校への合格者数にこだわっておられるように、私は子供たちの能力に合った高校への進学にこだわっています。

また、成績の良い子だけを集めようとも考えておりません。

ですから、「有名進学校への合格者数」が塾の評価基準と考えておられるのなら、最初から議論は噛み合いません。

無理をさせられてそうした高校に進学したがゆえに、悲劇的な三年間を過ごした子供たち、不登校や退学を余儀なくされた子供達が益々増えている現実、時にはその子達の言葉に耳を傾けられた方がいいかもしれません。

「〇〇高校合格者？人」、私もよく目にしますが、毎回、その子達は高校進学後どうしているだろう？と考えます。

Q 高校ではトップクラスですが、一般入試での大学進学は難しと言われました。そんなことがあるのですか。

A 高校受験と同じような感覚で考えておられるのではないかと思います。

中学校、特に公立の場合は、どの学校も学力の差はそれほどありませんので、同じ学区内の各中学校で比較すると、『成績順位が同じレベルの各中学校の子供たちは、大体同じ高校へ進学する』と言えます。

さらに、高校受験は、私立を除けば、学区という狭い範囲内での競争ですし、受け皿も多いため、ほぼ全員が高校へ進学できます。

しかし、大学入試は全国規模ですから、競争相手が一気に増える反面、受け皿は極端に少なく、高校進学者の半数程度になってしまいます。

また、高校は、中学校とは違って、各高校で、学力の差がかなりありますので、たとえその高校でトップの成績でも、学力の高い上位の進学校へ行けば最下位になるケースもありえます。

つまり、大学受験では、その高校内の成績がトップクラスであっても、学力が大学入試レベルに届いていなければ、大学進学は厳しいということになってしまいます。

ただ、お子さんの場合、普通科ですし、内申点はかなり良い評価のはずですから、指定校推薦、一般推薦などを利用された方が得策ではないかと思います。

評価によっては、一般入試ではまず無理な大学へも進学できる可能性があります。

